

月例報告

学部	国際文化
学科	国際文化
国名	フランス
留学先	リヨン第三大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p>&lt;科目名:SIM&gt;</p> <p>9月3日にフランス語のレベル分けテストがあるため8月24日～28日はその対策授業プログラムがありました。対策授業自体はFLEという名前なのですが、SIMでは他にもフランスの基本情報を教えてくれる授業や、映画でフランスの中世時代について教えてくれる授業などがありました。またフルヴィエールの丘までバスで観光してくれる時間やソワレもありました。普段の授業は日本人同士で固まってしまう私たちもソワレのおかげで他の国の生徒と交流することができました。ただ、ソワレの開始時間は基本的にとても遅く、ひどいと夜の10時からということもあったため、家が遠い私は泣く泣く参加を断念することが多々ありました。しかし、それを踏まえたとしてもSIMプログラムはとてもいい内容となっていたため、参加することをオススメします。申請方法なのですが、6月にネットで大学手続きをする際に一緒に申請することができます。値段は160€なのですが、画像でアップロードした時間割のうちの赤字の授業は追加で1授業30€で受けることができます。私は赤字の授業を一切取らなかったのですが、それでもとても満足できるプログラム内容となっていました。DEUF生しかこのプログラムに参加できないためその点においては注意してください。</p> <p>&lt;語学について&gt;</p> <p>まだ本格的な授業が始まっていないため、今回はSIMプログラムの中のFLEという授業について書きます。FLEはフランス語のレベル分けテストの対策が主な内容となっています。B1～C2の生徒が一緒に講義を受けているため、テキストの問題内容は難易度がバラバラになっています。B1しか取得していない私は、自分が解けそうな難易度を集中的にやり、C1やC2の問題は理解できなくても仕方ないと初めから自分に言い聞かせて授業に取り組んでいました。先生が解説するスピードはゆっくりだったため理解しやすく、授業中に電子辞書を開く必要はそこまでありませんでした。宿題は大量に出ていましたが、自分が明らかに分からないような問題は空欄にし、分かりそうな問題は電子辞書を使いながら解いていました。唯一ストレスだったことは、先生が解説中に英語を多用することでした。英語が苦手な私にとってフランス語の解説に集中している際の英語はとてもイライラしました。もしその先生のクラスになった場合は、英語解説をやめるように講義するつもりです。英語圏から来た人にとってはいいのかもしれませんが、あまりにも不平等だと思います。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>前回のSA留学でホストファミリー生活に慣れた私は今回もホストファミリーを選びました。寮生活だとフランス語を使用する頻度が減ると思ったからです。私のホストファミリーはとても優しく、日本人の留学生を何人も受け入れているため、日本の文化にも理解がありました。そのため毎日お風呂に入る日本文化も初めから知っていました。日本文化をいちいち説明する必要が初めから無かったためとても楽でした。またお風呂はホストファミリー用とゲスト用の2つがあるため、いつでもお風呂に入っているいいことになっていました。私の部屋は日当たりも良く、部屋の大きさもちょうど良く、収納スペースも多いためとても快適です。また洗濯と掃除は週に一度ホストファミリーがやってくれるため、家の中は常に清潔に保っています。食事なのですが、契約書類を見ると休日は夜ご飯を出してくれないことになっていました。しかし、実際は休日含め毎晩出してくれます。不安に思った私は一度ホストファミリーに話してみたのですが、初めから毎晩出す契約になっていると説明を受けました。同じ値段で毎晩出してくれることになったので少しお得になってしまいました。家から大学まではバスとトラムで40分かかるとはありますが、家からバス停まで1分、トラムの駅から大学までが1分なので慣れてしまえばとても楽に通学できます。また家の周辺にはスーパーマーケットやショッピングセンター、マクドナルドや薬局があるため、帰りに気軽に寄ることもできます。家には自由に使うことができる自転車があるため休日はサイクリングしながら家の周りを探索しています。8月末まで日本人の男子の留学生も一緒に暮らしていたのですが、その子に定期券の買い方や家の周辺にある施設などを全て教えてもらいました。フランス人の家に日本人が二人いる環境はとても不思議でしたが、それはそれでとても楽しい生活でした。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>フランスに着いてから2週間で感じたことは、リヨンは第二都市であるにも関わらずパリよりはるかに人がのんびりしていることでした。治安も思っていたより良く、人が行き交う場所には銃を持った警察が常に警備していました。ただ、今後も気を抜かずに生活していくことに変わりはないためスリなどに合わないよう日々気を配っています。</p>